

【学校推薦型選抜・小論文】

問1

出題文該当箇所に関する論旨を正しく把握できているか、また、簡潔に要約できているかを問う。

解答例

イノベーションには、創造と破壊の両面が存在する。イノベーションの恩恵は当初は起業家や投資家が獲得するが、最終的には社会全体に時間をかけて徐々にもたらされる。一方コストは短期的に、しかも局所的にあらわれる。イノベーションの創造により、スキルを破壊されるというコストが発生する。スキルを破壊された当事者は職を失うため、イノベーションへの抵抗が大きくなる。恩恵とコストの時間差によって、イノベーションへの抵抗が生まれる。イノベーションを促進し、破壊によって生じる抵抗を小さくするためにはリスク・シェアの仕組みが重要になる。

問2

出題文全体に対する理解にもとづき、かつ追加した資料を使用して、生成AIによりもたらされる恩恵と破壊の側面、および破壊に対してどのようなリスク・シェアが考えられるのかを問う。

解答例

日本国内では少子高齢化が進行し、労働人口が減少している。(資料2)に記載がある通り、生成AIにはテキストの作成やドキュメントの要約など、ホワイトカラーが担ってきた業務での活用が期待される。生成AIの活用により、特に定型的な業務を効率化し、労働力不足への対応や生産性向上に寄与することが見込まれる。一方で、既存の職業が生成AIによって代替されることにより、一部の労働者がスキルを破壊され、仕事を失うリスクが生じる。例えばマニュアルや議事録の作成といった定型的な業務に従事している労働者のスキルが破壊される可能性がある。恩恵と破壊には偏りがあり時間差を伴ってあらわれるため、破壊のリスクには早めに対応することが必要である。破壊に対するリスク・シェアには、政府や企業が連携し、労働者のリスクリング、職業訓練の仕組みの整備や再就職の支援を積極的に行うことが考えられる。